

# Explore the EARTH and Create Value



**JX石油開発株式会社**





JX石油開発は、日本最大のエネルギー・資源・素材コンглоメリットであるENEOSグループの主要な事業会社として、国内を含む世界各地で石油・天然ガスの開発・生産事業を展開しています。

気候変動問題が全世界の共通の課題となり、脱炭素、カーボンニュートラルへの動きが急加速している中、石油・天然ガス等化石燃料を取り巻く事業環境は、厳しさを増しております。

このような事業環境の下、当社は、「基盤事業」である石油・天然ガスの開発・生産事業を軸としつつ、CCS (Carbon dioxide Capture and Storage : CO<sub>2</sub>回収・貯留) / CCUS (Carbon dioxide Capture, Utilization and Storage : CO<sub>2</sub>回収・有効活用・貯留) を中心とした環境対応事業を「成長事業」としてもう一つの軸とする「二軸経営」(Two-pronged Approach) を標榜しております。

「基盤事業」では、長年にわたりオペレーターとして安全・安定操業を継続しているマレーシアやベトナムの既存事業の資産価値最大化を追求するとともに、比較的環境負荷が低く、需要の拡大が見込まれる天然ガス事業の一層の強化を図ってまいります。

「成長事業」と位置付ける環境対応事業では、当社は、2000年のアブダビにおけるゼロ・フレアの導入をはじめとして、

- 石油・ガス業界では世界初となる、ベトナムにおける CDM (Clean Development Mechanism : クリーン開発メカニズム) 取得 (2007年)
- 東南アジア初となるベトナムにおける CO<sub>2</sub>-EOR (Enhanced Oil Recovery : 原油増進回収) (2011年)
- 世界最大規模である米国 Petra Nova CCUS プロジェクト (2017年)

と、長年にわたり、先進的な CO<sub>2</sub> 削減に取り組んでまいりました。今までに蓄積した知見を活かし、国内、東南アジア域を中心に、環境対応事業の展開を狙います。

エネルギーの安定供給とサステナブルな社会の実現に向けて、私たちはこれからも挑戦を続けます。

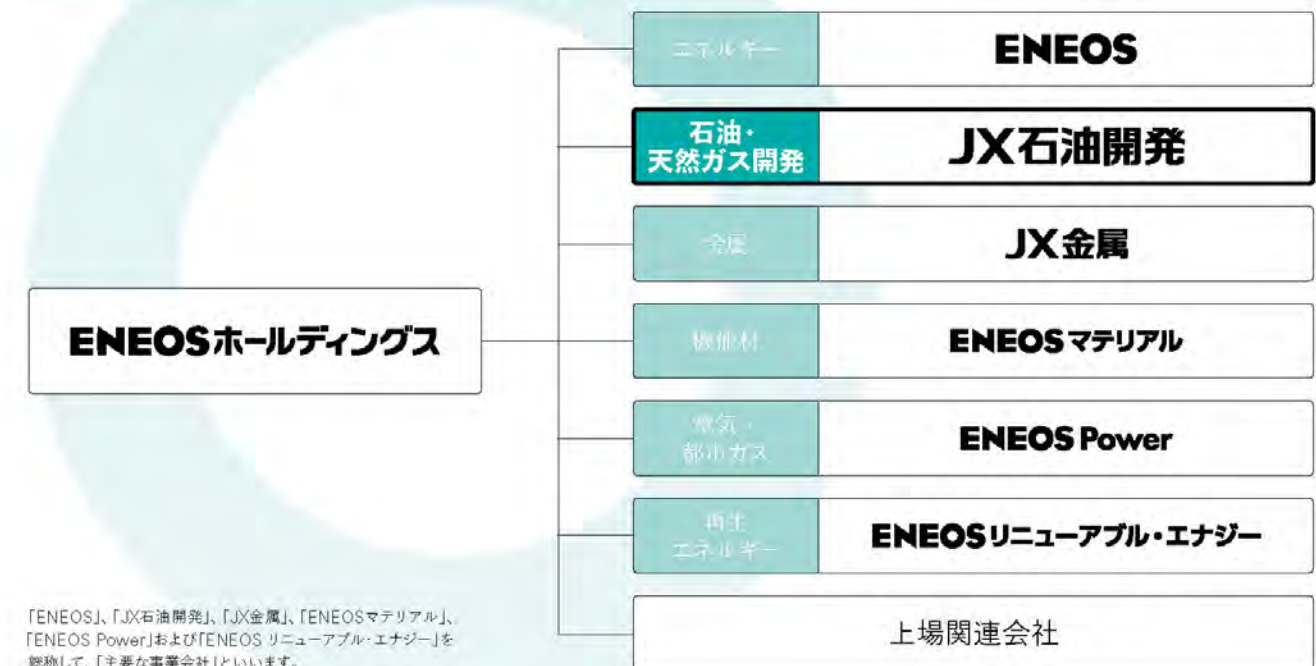
代表取締役社長 **中原 俊也**

# ENEOSグループ

- 国内燃料油 販売シェア **50%**超
- 連結売上高 約 **11**兆円
- 連結従業員数 約 **42,000**人

※2022年3月末時点

## ENEOSグループ運営体制



## ENEOSグループ理念

### 使命

地球の力を、社会の力に、そして人々の暮らしの力に。  
エネルギー・資源・素材における創造と革新を通じて、  
社会の発展と活力ある未来づくりに貢献します。

### 大切にしたい価値観

#### 社会の一員として

##### 高い倫理観

誠実・公正であり続けることを価値観の中核とし、高い倫理観を持って企業活動を行います。

##### 安全・環境・健康

安全・環境・健康に対する取り組みは、生命あるものにとって最も大切なことであり、常に最優先で考えます。

#### 人々の暮らしを支える存在として

##### お客様本位

お客様や社会からの期待・変化する時代の要請に真摯に向き合い、商品・サービスの安定的な供給に努めるとともに、私たちだからできる新たな価値を創出します。

#### 活力ある未来の実現に向けて

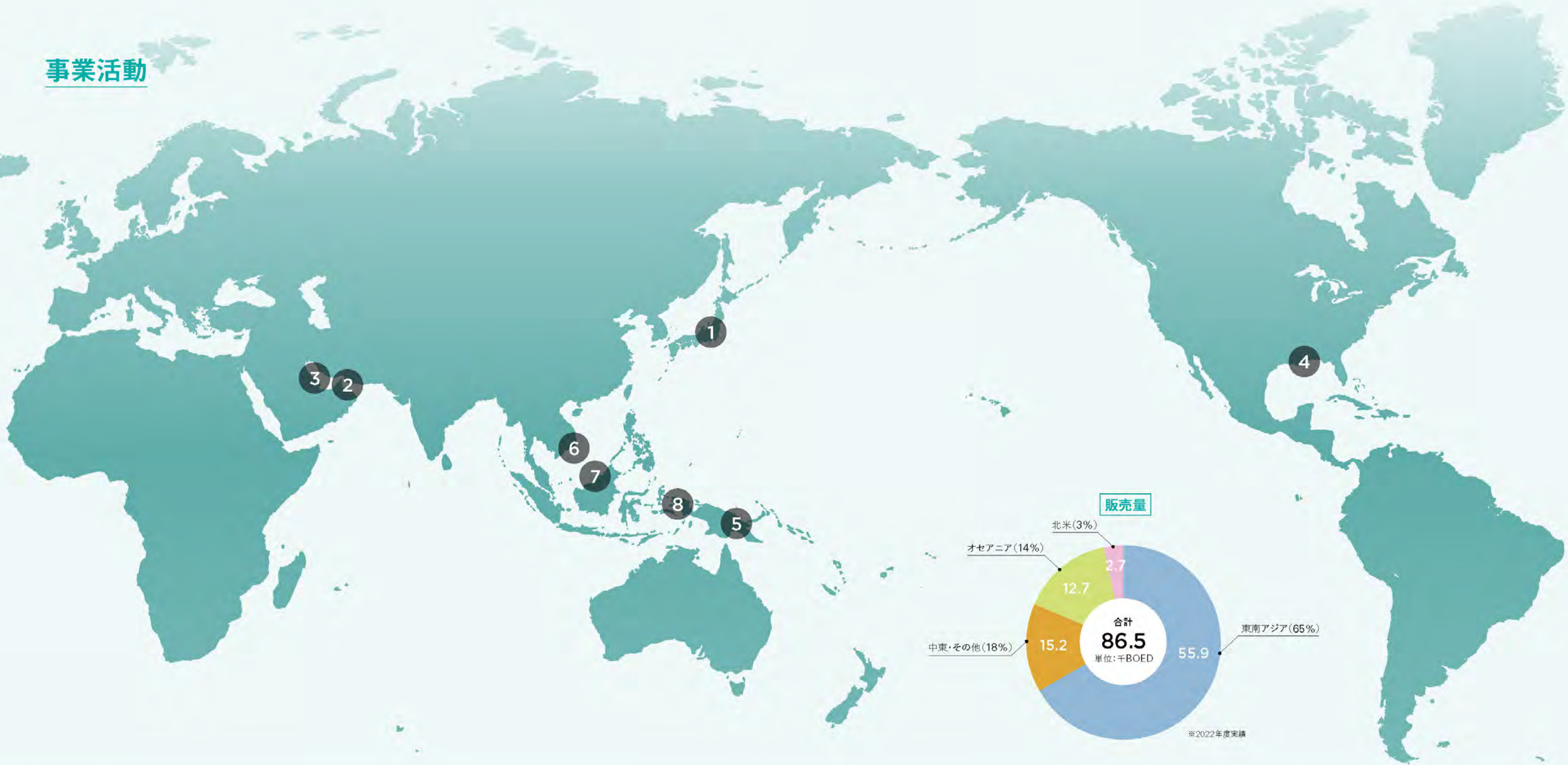
##### 挑戦

変化を恐れず、新たな価値を生み出すことに挑戦し続け、今日の、そして未来の課題解決に取り組みます。

##### 向上心

現状に満足せず、一人ひとりの研鑽・自己実現を通じて、会社と個人がともに成長し続けます。

## 事業活動



## 沿革

- 1959 新潟県：天然ガス生産開始（中条油業所）..... ①
- 1973 UAE：原油生産開始（アブダビ石油ムバラス油田）..... ②
- 1975 UAE／カタール：原油生産開始（合同石油開発ブンドク油田）..... ② ③
- 1990 アメリカ：オーチャードノースガス田の権益を取得..... ④
- 1992 パプアニューギニア：原油生産開始（クツブ油田）..... ⑤
- 1998 ベトナム：原油・天然ガス生産開始（ランドン油田）..... ⑥

- 2003 マレーシア：天然ガス生産開始（ヘランガス田）..... ⑦
- 2009 インドネシア：タンダーLNGプロジェクト生産開始..... ⑧
- 2014 パプアニューギニア：PNG LNGプロジェクト生産開始..... ⑤
- 2017 アメリカ：Petra Nova CCUSプロジェクト生産開始（ウェストランチ油田）..... ④
- 2018 マレーシア：天然ガス生産開始（ベリルガス田）..... ⑦

## HSEに対する基本姿勢

(衛生・安全・環境)

HSEとは、Health、Safety、Environmentの頭文字からなる略称で、衛生・安全・環境を指します。当社はHSEを何よりも優先し、石油・天然ガス開発に携わる当社従業員を含む全ての人々および地域住民の皆様の安全で健康的な生活ならびに職場での事故や怪我の防止、環境負荷の低減に全社を挙げて取り組んでいます。

### 衛生・安全・環境方針の策定

当社では、衛生・安全・環境に対する基本方針を策定しています。また、その具体的な方策や運用方法と遂行、ならびに社長以下全社員が方針の運用に責任を負うことなどを明文化し、全社で共有しています。



### 国際規格に則ったHSEマネジメントシステム

国際規格に則ったHSEマネジメントシステムを構築し、Plan（計画/立案）-Do（実施/運用）-Check（実績評価）-Act（改善）の運用サイクルを通じてHSEパフォーマンスの継続的改善を図っています。



### 安全への取り組み

石油・天然ガス開発事業は、探鉱・開発・生産・廃鉱の各段階において、事故発生のリスクをはらんでいます。当社ではこのようなリスクを適切に管理し、労働環境の整備や安全作業に努めています。



### 環境への取り組み

当社は「衛生・安全・環境方針」および「ENEOSグループ環境方針」に則り、あらゆる事業活動において環境関連法令を遵守し、環境保全に努めています。米国のPetra Nova CCUSプロジェクトによる地球温暖化対策はその一例です。



※ Petra Nova CCUSプロジェクト：CO<sub>2</sub>を老朽化油田に圧入し、原油回収率向上とCO<sub>2</sub>削減に寄与する技術プロジェクト。

## 社会貢献活動

当社では、「次世代育成・支援」「環境保全」「文化・スポーツの振興」に重点を置いた社会貢献活動に取り組んでいます。事業活動を行っている国内外のさまざまな地域において、教育インフラ等の建設支援や、社会事業、イベント等に対する寄付、地元行事への参加およびボランティア活動の実施など、地域社会に根差した活動を展開しています。



ベトナム：学校等の建設（ベトナム各地）



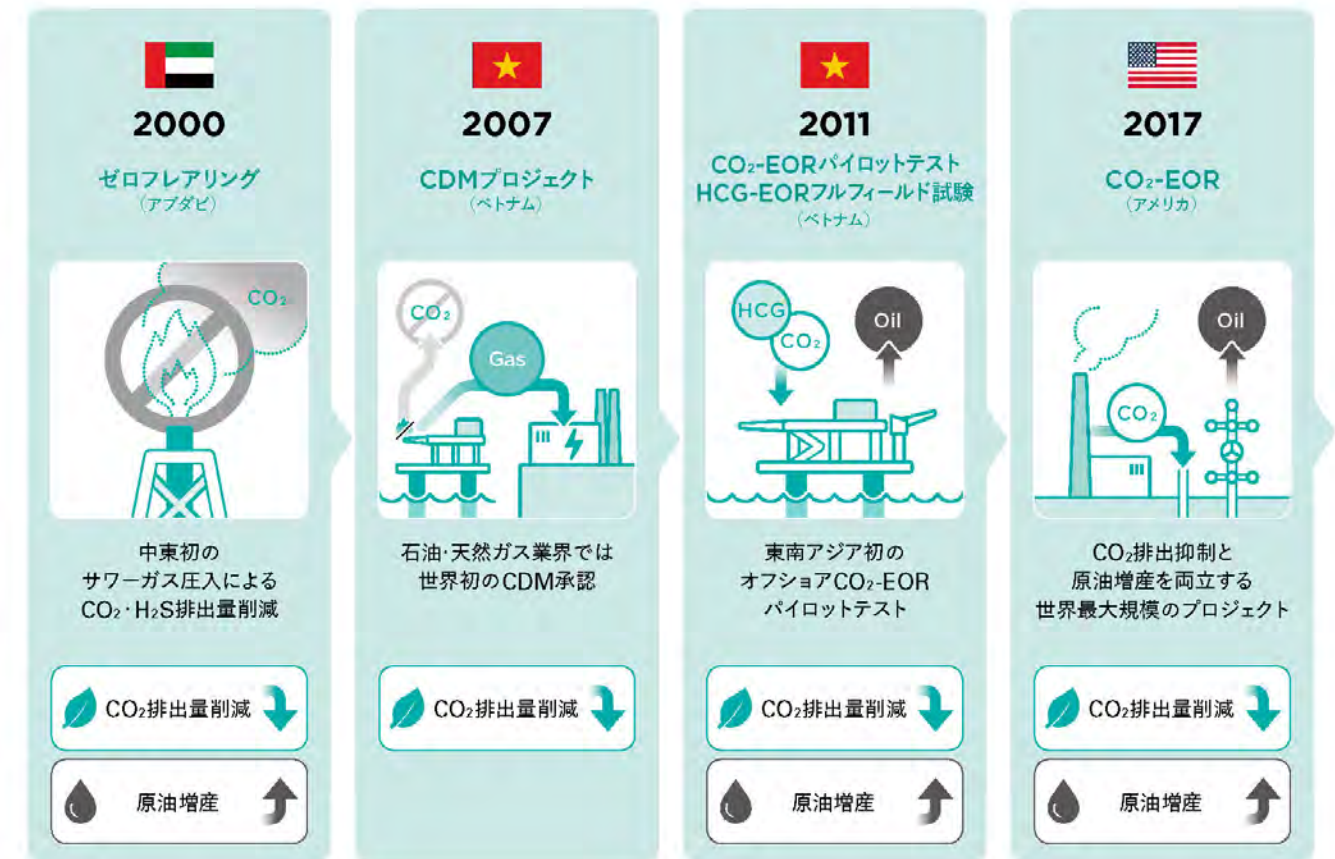
日本：森林保全活動（新潟県胎内市）



マレーシア：レガッタレースへの協賛（サラワク州）

## カーボンニュートラルに向けた取り組み

当社は、長年にわたり、先進的なCO<sub>2</sub>削減に取り組んでまいりました。今後もCCS/CCUSやガスEOR技術を通じて、脱炭素・循環型社会の実現に貢献してまいります。





## 会社概要

2022年10月1日現在

### 社名

JX石油開発株式会社

### 設立年月日

1991年6月26日

### 本社所在地

〒100-8163 東京都千代田区大手町1-1-2 ENEOSビル

### 資本金

376億円

### 株主

ENEOSホールディングス(100%)

### 代表取締役社長

中原 俊也

### 事業内容

石油、天然ガス、その他の鉱物資源の探鉱および開発

石油、天然ガス、その他の鉱物資源や、それらの副産物の採取、加工、貯蔵、売買および輸送

### オフィシャルサイト

<https://www.nex.jx-group.co.jp/>

### 事業所

- プンタウ(ベトナム)
- ホーチミン(ベトナム)
- クアラランプール(マレーシア)
- ジャカルタ(インドネシア)
- ブリスベン(オーストラリア)
- ヒューストン(アメリカ)
- 中条油業所(新潟)